

平成 26 年度 決算 に 係 る  
定 期 監 査 調 書

平成 27 年 6 月

危機管理局消防防災課



目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
	(3) 決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況	〃
3	組織及び業務調べ	〃
4	職員の定員、現員調べ	〃
5	役付職員の調べ	〃
6	主な事業に関する調べ	2 頁
7	決算調書（総括表）	7 頁
8	事業別実施状況調べ	〃
9	予備費の充用調べ	〃
10	繰越関係調べ	〃
	(1) 継続費逓次繰越調べ	
	(2) 繰越明許費調べ	
	(3) 事故繰越調べ	
11	収入証紙取扱額調べ	8 頁
12	収入事務処理状況調べ	9 頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 寄付金	
	(6) 諸収入	
	(7) 現金の取扱状況	
13	税外収入未済額調べ	11 頁
14	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	〃
15	税外収入不納欠損額調べ	〃
16	債務負担行為の状況調べ	12 頁
17	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	13 頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(2-2) 補助金（他課から予算の配当替えを受けて執行したもの）	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
	(4-2) 委託料（他課から予算の配当替えを受けて執行したもの）	
18	工事請負費調べ	20 頁
18-2	工事請負費調べ（他課から予算の配当替えを受けて執行したもの）	〃
19	財産に関する調べ	21 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
	(3) 基金	
	(4) 債権	
20	財産の貸付及び使用許可調べ	23 頁
	(1) 土地及び建物	

(2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの）

21	借受不動産明細調べ	23頁
22	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	〃
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
23	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ	〃
24	寄附物件の受納状況調べ	24頁
25	備品の処分状況調べ	〃
26	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	〃
	(1) 現金、有価証券、物品の防失、損傷調べ	
	(2) 物品の照合	
27	貸付金等状況調べ	〃
	(1) 総括表	
	(2) 償還状況	
○	意見、要望等	〃

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項  
該当なし

(2) 監査意見  
該当なし

(3) 決算審査意見  
該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況  
該当なし

3 組織及び業務調べ

課 名	係（担当）名	課 の 主 な 所 掌 事 務
消防防災課	地域防災力 担当	① 地域の危機対応力の向上に関する事 ② 消防事務に関する事 ③ 電気工事業及び電気工事並びに電気製品の安全に関する事 ④ 高圧ガス等の保安に関する事 ⑤ 火薬類及び猟銃等の製造販売の許可に関する事 ⑥ 消防防災航空センター及び消防学校に関する事
	消防・保安 担当	

4 職員の定員、現員調べ

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		合計		備 考
	27.4.1 現在	26.4.1 現在	27.4.1 現在	26.4.1 現在	27.4.1 現在	26.4.1 現在	27.4.1 現在	26.4.1 現在	
定 員	8	8	0	0	0	0	8	8	
現 員	(0) 8	(1) 9	0	0	0	0	(0) 8	(1) 9	休職1名(H25.12.2~26.6.24) 現員のうち中部消防局から派遣 1名(H27.4~)、倉吉市から派遣 1名(H26.4~)
過不足(△)	0	1	0	0	0	0	0	1	予算定数外1名
臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員	3	3	0	0	0	0	3	3	高圧ガス保安指導員(1) 一般事務(2)

5 役付職員の調べ

(平成27年6月1日現在)

職 名	氏 名	在 職 期 間		備 考
		年	月	
消防防災課長	丸山 康夫	3	2	
課長補佐	馬田 徹	3	2	

6 主な事業に関する調べ

事業名	概要	要
<p>①住民が主体となった防災体制構築支援事業</p> <p>決算(見込)額 10,518千円</p> <p>(財源内訳) 一般財源 5,063千円 その他 5,455千円</p> <p>○将来ビジョン Ⅲ 守る (4)実践型の防災・危機管理</p> <p>○政策項目 Ⅲ 暮らしに安心</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 過疎・高齢化が進む中、将来(10年後)を見据えて、地域住民が地域の実情を踏まえ、集落の集合体による防災活動の取組の促進や、消防団・自主防災組織構成員のほか、地域住民全体による防災活動への参画を目標に、主体的かつ一体的に防災体制を構築していくことを支援する。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>(1) 地域福祉に係る事業(※)を実施しているモデル6市町(倉吉市、岩美町、若桜町、智頭町、北栄町、江府町)と委託契約を行い、地域福祉と地域防災の連携により、支え愛活動をコーディネートする者が、地域防災力の向上に係る業務を実施した。 ※安全生活基盤構築事業(補助率10/10、上限10,000千円) 一人暮らし世帯等への「基盤支援(見守り及び買物支援)」を行うことで、地域で安心・継続して暮らせる地域づくりを行うための事業(厚生労働省補助事業)</p> <p>＜主な委託業務の内容＞</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>防災・福祉マップづくり、防災・福祉マップにより明らかにとなった課題を解決するための対策(避難用リヤカー、情報通信機器等の整備)、避難訓練、防災ワークショップの開催等</p> </div> <p>(2) 業務の実施にあたり、支え愛活動をコーディネートする者が、効果的に住民との座談会、地域の防災点検活動、防災・福祉マップづくり等が行えるよう、日野ボランティア・ネットワークに委託して、コーディネーターの支援(助言や一緒に活動等)を行った。</p> <p>(3) モデル6市町以外の市町村においては、コーディネーターを介さず、日野ボランティア・ネットワークが自治会や自主防災組織等に対し、住民が主体となった防災体制の構築に向けた取組(防災・福祉マップを活用した座談会等)を行った。</p> <p>イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <p>① 市部における住民主体の防災体制を構築するため、倉吉市をモデル市町村として新たに追加して取組を進めるとともに、2年目に当たるモデル市町村(5団体)については、これまでの取組を深化させるべく、作成済みの防災・福祉マップの見直しや、見直しを踏まえた避難訓練等に取り組んだ。</p> <p>② 住民が主体となった防災体制の構築を県全体に広げるため、防災・福祉をテーマとした座談会を行う等モデル市町以外の市町村についても支援を進めた。</p> <p>ウ 成果</p> <p>① 複数の集落単位で様々な取組を行っている地域振興協議会の協力を得ながらコーディネーターが集落に入って取組を進めたり、モデル地区において防災・福祉マップの作成を行った際に、近隣の地区の役員が視察に訪れたりするなど、集落を越えた取組の展開が見えてきた。</p> <p>② 単に防災・福祉マップを見直すだけではなく、自主防災組織の役員が交代されても継続的に実施されるよう、当該マップの利用規定(個人情報取り扱い、要支援者及び支援者の役割等を整理)を設けるといった取組がなされた。</p> <p>③ 取組を進める中で、住民全体が取り組むことの重要性を住民自らが認識するようになってきた。</p> <p>エ 課題</p> <p>地域振興協議会等と効果的に連携しながら、集落を越えた防災活動の取組を増やすとともに、住民全体で防災に取り組む意識を醸成する仕組みを構築し、他の市町村のモデルとなり得るような取組を積み重ねる。</p>	

事業名	概要	要
<p>②防災・減災促進事業</p> <p>決算(見込)額 62,500千円</p> <p>(財源内訳)</p> <p>一般財源 62,500千円</p> <p>○将来ビジョン Ⅲ守る</p> <p>(4)実践型の防災・危機管理</p> <p>○政策項目 Ⅲ暮らしに安心</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 「鳥取県防災及び危機管理に関する基本条例」に基づく自助・共助を担う住民の防災活動や東日本大震災を教訓とした市町村による防災・減災対策を促進するため、市町村が実施する防災・減災事業に対して、鳥取県防災・危機管理対策交付金により支援を行う。</p> <p>(イ) 事業の実施状況 次の対象事業費の合計額の1/2の額を上限に、鳥取県防災・危機管理対策交付金を交付した。</p> <p>&lt;東日本大震災の教訓を踏まえて取り組む事業：10,500千円&gt;</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>①衛星携帯電話の配備その他迅速かつ的確な情報の収集及び伝達ができる体制の整備に関する事業</p> <p>②備蓄物資の調達及び輸送の手段の確保に関する事業</p> <p>③被害の状況に応じた防災訓練の実施に関する事業</p> <p>④広域的な応援態勢の構築に関する事業</p> <p>⑤避難所の運営体制の整備に関する事業</p> <p>⑥業務継続体制の整備に関する事業</p> <p>⑦医療救護体制の整備に関する事業</p> <p>⑧建築物の耐震改修の促進に関する事業</p> </div> <p>&lt;県民活動を推進する事業：10,500千円&gt;</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>①住民の防災知識の普及、②避難行動要支援者に対する支援体制の環境整備、③条例に基づく県民意識の醸成及び県民運動の展開等</p> </div> <p>&lt;消防団を強化する事業：10,375千円&gt;</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>①消防団員の能力向上 ②消防団員の確保 ③救助資機材その他の資機材の整備</p> </div> <p>&lt;自主防災組織を強化する事業：14,525千円&gt;</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>①自主防災組織の発足の推進 ②運営の強化 ③避難訓練その他の訓練の実施</p> </div> <p>&lt;住民が主体となった防災体制の構築を推進する事業：14,525千円&gt;</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>①自治会や集落等の単位による防災における連携協力の推進に関する事業</p> <p>②消防団員及び自主防災組織構成員以外の者の防災活動への参画推進に関する事業</p> <p>③住民が行う防災ワークショップ又は防災訓練に関する事業</p> <p>④防災ワークショップ、防災訓練等のコーディネートを行う者その他防災への取組を推進するための指導者の育成に関する事業</p> <p>⑤自治会や集落等の単位による資機材の整備に関する事業</p> <p>⑥住民の防災情報の入手手段の整備に関する事業</p> <p>⑦避難行動要支援者ごとの避難支援計画の作成に関する事業</p> </div> <p>&lt;調整枠：2,075千円&gt;</p> <p>上記の対象事業費の合計額の1/2の額が、所定の交付金の額を超えた市町村に対して按分して交付</p> <p>イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 鳥取県防災及び危機管理に関する基本条例の改正に合わせて、防災・減災に対する県民意識の醸成や県民運動の展開を一層推進するため、新たに県民活動を推進する事業を交付対象事業に加えた。</p> <p>ウ 成果</p> <p>① 消防団や自主防災組織の充実・強化とともに、交付金の対象事業に県民活動を推進する事業を新たに加えたところ、防災ハンドブックの作成や防災研修会の開催、防災専門員の配置等の取組が行われ、防災や危機管理に役立つ行動を住民全体に定着させる運動が着実に進んだ。</p> <p>② 自主防災組織の組織率が上昇した(4月1日現在 平成26年度：78.8%⇒平成27年：80.2%)。</p> <p>エ 課題 消防団や自主防災組織の活動の活性化や過疎・少子高齢化が進む本県の現状に対応するため、当該交付金制度により地域住民が主体となった防災体制の構築に取り組んできたところであるが、新たに局地的豪雨災害枠を設けて、障がい者への配慮も含めた防災対策を推進する事業を交付対象にするとともに、県民活動推進枠を県民運動・女性防災活動推進枠に変更し、女性が防災活動に参画しやすい環境の整備に関する事業の支援を進めているところ。</p>	

事業名	概要										
<p>③ 住民主体の防災活動支援事業 (鳥取県防災活動発表大会)</p> <p>決算(見込)額 209千円 (財源内訳) 諸収入 209千円 一般財源 0千円</p> <p>○ 将来ビジョン Ⅲ 守る (4) 実践型の防災・危機管理</p> <p>○ 政策項目 Ⅲ 暮らしに安心</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 住民が主体となった防災体制の構築に向けた取組を進めているモデル町の事例発表等を通じて、平常時及び災害時の住民の主体的な自助及び共助の取組の大切さを再認識することにより、県内の各地域に住民を主体とした防災活動の輪を広げ、県全体の地域防災力の向上に資する。</p> <p>(イ) 事業の実施状況 「平成26年度鳥取県防災活動発表大会」を次のとおり開催した。</p> <table border="1" data-bbox="379 465 1423 1075"> <tr> <td>主 催</td> <td>鳥取県、一般財団法人日本防火・防災協会</td> </tr> <tr> <td>日 時</td> <td>平成26年11月15日(土) 午前10時～午後3時50分</td> </tr> <tr> <td>会 場</td> <td>倉吉市上灘公民館(倉吉市上灘町9番地1)</td> </tr> <tr> <td>内 容</td> <td> <p>ア 県から「住民が主体となった防災体制構築支援事業」の事業説明</p> <p>イ モデル町[岩美町・若桜町・智頭町・北栄町・江府町]から「住民が主体となった防災体制の構築に向けた取組」の事例発表</p> <p>ウ モデル町の取組支援団体[日野ボランティア・ネットワーク]から「住民が主体となった防災体制の構築に向けた取組の成果と今後の展望」について意見発表</p> <p>エ 参加者によるワークショップ (仮想地図を用いた水害時の地域防災活動のグループ検討、他県の取組事例の紹介等)</p> <p>&lt;テーマ&gt; 地域の強みや弱みを知り、地域で明日の災害に備える &lt;講師&gt; 山形県防災アドバイザー ウェザーハート災害福祉事務所 代表 千川原 公彦氏</p> </td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>県内自主防災組織の構成員、防災・福祉関係機関の職員等(106名)</td> </tr> </table> <p>イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 各参加者に住民の主体的な自助及び共助の大切さを再認識してもらうとともに、地域の防災活動に対する取組意欲の高揚を図るため、前半の事例発表では、モデル町で実際に取組に参加している住民の方々から苦勞した点や取組の成果等を中心に発表してもらうこととした。また、後半のワークショップでは、各グループにモデル町の発表者を割り振り、各参加者と意見交換できる機会を提供するとともに、各グループで仮想の自治会を結成し、参加者同士による自治会名や役職決めをはじめ、他県の取組事例をクイズ形式で紹介するなど、楽しみながらグループ検討できる雰囲気作りに配慮した。</p> <p>ウ 成 果 発表大会の開催を通じて、参加者一人一人が防災活動を身近なものと感じ、自助及び共助の大切さを再認識しながら自分たちの地域で自分たちにできる取組を考える良い機会となった。 なお、参加者を対象としたアンケートを実施した結果、9割を超える方が「参考になった」と回答しており、本大会の目的を達成できた。</p> <p>エ 課 題 モデル町による事例発表やワークショップを通じた意見交換等により、各参加者の防災意識の普及啓発や高揚に一定の成果を挙げることができたが、今後、これらの成果を生かして地域防災力の向上に繋げていくためには、大会参加者がそれぞれの地域で主体的に防災活動を実践してもらうことが重要である。 発表大会を通じて県内全域に防災活動の輪を広げていくため、各参加者がより主体的に防災活動を検討したり、参加者同士のネットワークや交流が生まれるような企画を検討していく。</p>	主 催	鳥取県、一般財団法人日本防火・防災協会	日 時	平成26年11月15日(土) 午前10時～午後3時50分	会 場	倉吉市上灘公民館(倉吉市上灘町9番地1)	内 容	<p>ア 県から「住民が主体となった防災体制構築支援事業」の事業説明</p> <p>イ モデル町[岩美町・若桜町・智頭町・北栄町・江府町]から「住民が主体となった防災体制の構築に向けた取組」の事例発表</p> <p>ウ モデル町の取組支援団体[日野ボランティア・ネットワーク]から「住民が主体となった防災体制の構築に向けた取組の成果と今後の展望」について意見発表</p> <p>エ 参加者によるワークショップ (仮想地図を用いた水害時の地域防災活動のグループ検討、他県の取組事例の紹介等)</p> <p>&lt;テーマ&gt; 地域の強みや弱みを知り、地域で明日の災害に備える &lt;講師&gt; 山形県防災アドバイザー ウェザーハート災害福祉事務所 代表 千川原 公彦氏</p>	参加者	県内自主防災組織の構成員、防災・福祉関係機関の職員等(106名)
主 催	鳥取県、一般財団法人日本防火・防災協会										
日 時	平成26年11月15日(土) 午前10時～午後3時50分										
会 場	倉吉市上灘公民館(倉吉市上灘町9番地1)										
内 容	<p>ア 県から「住民が主体となった防災体制構築支援事業」の事業説明</p> <p>イ モデル町[岩美町・若桜町・智頭町・北栄町・江府町]から「住民が主体となった防災体制の構築に向けた取組」の事例発表</p> <p>ウ モデル町の取組支援団体[日野ボランティア・ネットワーク]から「住民が主体となった防災体制の構築に向けた取組の成果と今後の展望」について意見発表</p> <p>エ 参加者によるワークショップ (仮想地図を用いた水害時の地域防災活動のグループ検討、他県の取組事例の紹介等)</p> <p>&lt;テーマ&gt; 地域の強みや弱みを知り、地域で明日の災害に備える &lt;講師&gt; 山形県防災アドバイザー ウェザーハート災害福祉事務所 代表 千川原 公彦氏</p>										
参加者	県内自主防災組織の構成員、防災・福祉関係機関の職員等(106名)										



事業名	概要																																				
<p>④元気の消防団づくり支援事業</p> <p>決算(見込)額 1,350千円</p> <p>(財源内訳) 一般財源 1,350千円</p> <p>○将来ビジョン Ⅲ 守る (4) 実践型の防災・危機管理</p> <p>○政策項目 Ⅲ 暮らしに安心</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 消防団は地域密着性と即時動員力を特性とした地域防災力の要であるが、地域の希薄化や高齢化など消防団員の充足率低下が懸念されている。また、平成25年12月に「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が公布をされ、この法律の趣旨を踏まえながら、消防団員確保など消防団を中核とする地域防災力向上の取組を行う。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>① 消防団を中核とする地域防災力強化モデル事業 市町村から消防団確保に係る企画提案を公募し、3市町でモデル事業を実施した。</p> <table border="1" data-bbox="405 524 1469 981"> <tr> <td data-bbox="405 524 533 678">米子市</td> <td data-bbox="533 524 1469 678">【よなご消防団活性化プロジェクト】 一日消防団入団体験(児童とその保護者等)、市消防職員の入団促進、消防団協力事業所表示制度の導入、少年消防クラブの結成、防火意識啓発ダンス「たのしんジャー」による広報活動</td> </tr> <tr> <td data-bbox="405 678 533 833">倉吉市</td> <td data-bbox="533 678 1469 833">【倉吉市消防団員確保に向けた入団促進事業】 一日消防団入団体験(短大生等)、消防団協力事業所表示制度の導入、消防団員証発行、ちっぴこ消防団体験イベント、女性消防団員による防災紙芝居、消防団員OBの再任用制度</td> </tr> <tr> <td data-bbox="405 833 533 981">琴浦町</td> <td data-bbox="533 833 1469 981">【琴浦町消防団育成強化支援事業】 一日消防団入団体験(女性)、消防団協力事業所表示制度の導入、中学校等での防災スクール(消火・炊き出し訓練)、消防団車両・資機材展示による消防団PR</td> </tr> </table> <p>② 消防団活性化推進表彰 他の模範となる消防団・分団の知事表彰を行った。</p> <table border="1" data-bbox="405 1055 1469 1290"> <tr> <td data-bbox="405 1055 533 1099">日時</td> <td colspan="2" data-bbox="533 1055 1469 1099">平成27年2月10日(火)午前11時～</td> </tr> <tr> <td data-bbox="405 1099 533 1144">会場</td> <td colspan="2" data-bbox="533 1099 1469 1144">県民ふれあい会館「消防関係表彰式」</td> </tr> <tr> <td data-bbox="405 1144 533 1290">受章者</td> <td colspan="2" data-bbox="533 1144 1469 1290">         &lt;地域防災力向上表彰&gt; 3団体 米子市消防団福生東分団、琴浦町消防団女性分団、江府町消防団          &lt;緊急時対応表彰&gt; 1団体 倉吉市消防団          &lt;活動実績表彰&gt; 3団体 鳥取市消防団、若桜町消防団、日南町消防団       </td> </tr> </table> <p>③ 広報・PR活動 平成26年11月2日 防災フェスタ2014で消防団が参加した訓練等を実施した。 平成27年3月8日 消防団入団促進の新聞広告(まんが広告)を掲載した、等。 〔参考〕消防団員数(毎年4月1日現在)</p> <table border="1" data-bbox="448 1440 1426 1579"> <thead> <tr> <th data-bbox="448 1440 719 1485">年度</th> <th data-bbox="719 1440 831 1485">H22</th> <th data-bbox="831 1440 943 1485">H23</th> <th data-bbox="943 1440 1054 1485">H24</th> <th data-bbox="1054 1440 1166 1485">H25</th> <th data-bbox="1166 1440 1278 1485">H26</th> <th data-bbox="1278 1440 1426 1485">H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="448 1485 719 1529">消防団員数</td> <td data-bbox="719 1485 831 1529">5,194</td> <td data-bbox="831 1485 943 1529">5,168</td> <td data-bbox="943 1485 1054 1529">5,179</td> <td data-bbox="1054 1485 1166 1529">5,125</td> <td data-bbox="1166 1485 1278 1529">5,136</td> <td data-bbox="1278 1485 1426 1529">5,115</td> </tr> <tr> <td data-bbox="448 1529 719 1579">うち女性団員数</td> <td data-bbox="719 1529 831 1579">133</td> <td data-bbox="831 1529 943 1579">131</td> <td data-bbox="943 1529 1054 1579">139</td> <td data-bbox="1054 1529 1166 1579">142</td> <td data-bbox="1166 1529 1278 1579">152</td> <td data-bbox="1278 1529 1426 1579">158</td> </tr> </tbody> </table> <p>イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 モデル事業の取組や防災フェスタでの一日消防団入団体験など、消防団の入団促進となるよう県民への広報・PRに努めた。また、モデル事業の取組内容を鳥取県消防大会で報告するなど、モデル市町の成果が県内に普及するよう情報提供を行った。</p> <p>ウ 成果 平成26年度から「消防団を中核とする地域防災力強化モデル事業」を実施し、3市町が意欲的に新たな消防団活性化事業に取り組み、地域防災力が着実に向上している。</p> <p>エ 課題 消防団員数は減少傾向にあるものの女性団員は増加してきた。平成26年度から実施しているモデル委託事業を通じて、消防団活動を支えているのは、消防団活動に対する家族や地域の理解であることや、消防団に対する地域からの感謝と尊敬の念大切さを改めて認識したところであり、今後、新たな消防団活性化の取組みを推進する必要がある。 ※平成27年度は(公財)鳥取県消防協会の「消防団応援の店実施事業」の支援を行うところ。</p>	米子市	【よなご消防団活性化プロジェクト】 一日消防団入団体験(児童とその保護者等)、市消防職員の入団促進、消防団協力事業所表示制度の導入、少年消防クラブの結成、防火意識啓発ダンス「たのしんジャー」による広報活動	倉吉市	【倉吉市消防団員確保に向けた入団促進事業】 一日消防団入団体験(短大生等)、消防団協力事業所表示制度の導入、消防団員証発行、ちっぴこ消防団体験イベント、女性消防団員による防災紙芝居、消防団員OBの再任用制度	琴浦町	【琴浦町消防団育成強化支援事業】 一日消防団入団体験(女性)、消防団協力事業所表示制度の導入、中学校等での防災スクール(消火・炊き出し訓練)、消防団車両・資機材展示による消防団PR	日時	平成27年2月10日(火)午前11時～		会場	県民ふれあい会館「消防関係表彰式」		受章者	<地域防災力向上表彰> 3団体 米子市消防団福生東分団、琴浦町消防団女性分団、江府町消防団 <緊急時対応表彰> 1団体 倉吉市消防団 <活動実績表彰> 3団体 鳥取市消防団、若桜町消防団、日南町消防団		年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	消防団員数	5,194	5,168	5,179	5,125	5,136	5,115	うち女性団員数	133	131	139	142	152	158
米子市	【よなご消防団活性化プロジェクト】 一日消防団入団体験(児童とその保護者等)、市消防職員の入団促進、消防団協力事業所表示制度の導入、少年消防クラブの結成、防火意識啓発ダンス「たのしんジャー」による広報活動																																				
倉吉市	【倉吉市消防団員確保に向けた入団促進事業】 一日消防団入団体験(短大生等)、消防団協力事業所表示制度の導入、消防団員証発行、ちっぴこ消防団体験イベント、女性消防団員による防災紙芝居、消防団員OBの再任用制度																																				
琴浦町	【琴浦町消防団育成強化支援事業】 一日消防団入団体験(女性)、消防団協力事業所表示制度の導入、中学校等での防災スクール(消火・炊き出し訓練)、消防団車両・資機材展示による消防団PR																																				
日時	平成27年2月10日(火)午前11時～																																				
会場	県民ふれあい会館「消防関係表彰式」																																				
受章者	<地域防災力向上表彰> 3団体 米子市消防団福生東分団、琴浦町消防団女性分団、江府町消防団 <緊急時対応表彰> 1団体 倉吉市消防団 <活動実績表彰> 3団体 鳥取市消防団、若桜町消防団、日南町消防団																																				
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27																															
消防団員数	5,194	5,168	5,179	5,125	5,136	5,115																															
うち女性団員数	133	131	139	142	152	158																															

事業名	概要	要																										
⑤ 消防防災ヘリコプター更新事業 (繰越明許)  決算(見込)額 2,346,700千円 (財源内訳) 一般財源 700千円 起債 2,346,000千円  ○ 将来ビジョン Ⅲ 守る 鳥取県の豊かな恵み・ 生活を守り、次代へつ なが ○ 政策項目 Ⅲ 暮らしに安心	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的            現在運航している消防防災ヘリコプター「とっとり」(機種:ベル412)は、平成10年7月の運航開始から16年以上が経過し、機体の劣化に伴う不具合や交換部品の増嵩が顕著なことから、より一層の消防防災活動の機能強化、安全運航の確保のため更新機体の調達を行った。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>① 更新機の概要</p> <table border="1" data-bbox="450 539 1382 1039"> <tr> <td>機種</td> <td>アグスタウェストランド社製アグスタ式AW139型</td> </tr> <tr> <td>購入先</td> <td>東京都港区芝公園二丁目三井物産エアロスペース(株)</td> </tr> <tr> <td>取得価格</td> <td>2,158,920千円 (購入財源は緊急防災・減災事業債を活用)</td> </tr> <tr> <td>取得年月日</td> <td>平成27年3月17日</td> </tr> <tr> <td>エンジン出力</td> <td>3,358馬力 最大巡航速度 305km/h</td> </tr> <tr> <td>最大離陸重量</td> <td>6,800kg 航続可能距離 約650km</td> </tr> <tr> <td>ホバリング能力</td> <td>約2,600m 最大搭乗者数 17名(操縦士含む。)</td> </tr> <tr> <td>主な装備品</td> <td>救助用ホイスト、可視・赤外線一体的カメラ、動態管理システム、消火バケツ、機外拡声器、ヘリコプターテレビ伝送装置、高性能自動操縦装置、ワイヤーストライクプロテクション、空中衝突警告装置、デジタル電子式エンジン制御装置など</td> </tr> </table> <p>① 新機体の愛称公募            更新機の愛称は一般公募し、全都道府県から2,369点、1,333人から応募があった。鳥取県消防防災ヘリコプター愛称選考委員会(委員長:アザレア法律事務所井木博子弁護士)を開催(3回)し、愛称の選考を行った結果、愛称は「だいせん」に決定し、平成26年11月2日(日)開催の「とっとり防災フェスタ2014」で愛称の披露並びに最優秀賞受賞者(抽選で決定)に対する表彰式を行った。</p> <p>② 新機体の受領式            AW139用訓練施設の整備を行うとともに、新機体が納入となった平成27年3月17日には新機体の受領式を行い、新機体概要説明等を紹介を行った。</p> <table border="1" data-bbox="375 1379 1402 1615"> <tr> <td>日時</td> <td>平成27年3月17日(火)午後2時30分~</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>消防防災航空センター格納庫前エプロン(鳥取空港内)</td> </tr> <tr> <td>主催等</td> <td>発注者:鳥取県、受注者:三井物産エアロスペース株式会社</td> </tr> <tr> <td>出席者</td> <td>県内各消防局長及び空港関係者ほか</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>AW139目録授与・模型贈呈、発注者挨拶(鳥取県危機管理局長)、記念撮影、新機体及び訓練用施設の説明ほか</td> </tr> </table> <p>イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点            (平成25年度からの繰越事業)</p> <p>ウ 成果            AW139は、現有機と比較して広域応援や救助・情報収集機能等が強化され、最新の装備や安全装置を搭載しており、今後の消防防災ヘリコプターの活動能力と安全運航の向上が確保できるものとなった。</p> <p>エ 課題            平成27年12月からの更新機(AW139)の本格運航のためには(それまでの間は現有機(ベル412)を運用して緊急運航等を実施)、更新機の機体の形状や救助装置(ホイスト等)の位置等が現有機と異なることから、隊員の操作や活動要領を全面的に見直し、十分な安全管理と訓練を行う。            ※新機体の導入に対応して、平成27年度は消防防災航空センターへの派遣職員を1名追加(9名体制)とし、新たに参事(運航調整担当)を配置することとした。</p>	機種	アグスタウェストランド社製アグスタ式AW139型	購入先	東京都港区芝公園二丁目三井物産エアロスペース(株)	取得価格	2,158,920千円 (購入財源は緊急防災・減災事業債を活用)	取得年月日	平成27年3月17日	エンジン出力	3,358馬力 最大巡航速度 305km/h	最大離陸重量	6,800kg 航続可能距離 約650km	ホバリング能力	約2,600m 最大搭乗者数 17名(操縦士含む。)	主な装備品	救助用ホイスト、可視・赤外線一体的カメラ、動態管理システム、消火バケツ、機外拡声器、ヘリコプターテレビ伝送装置、高性能自動操縦装置、ワイヤーストライクプロテクション、空中衝突警告装置、デジタル電子式エンジン制御装置など	日時	平成27年3月17日(火)午後2時30分~	場所	消防防災航空センター格納庫前エプロン(鳥取空港内)	主催等	発注者:鳥取県、受注者:三井物産エアロスペース株式会社	出席者	県内各消防局長及び空港関係者ほか	内容	AW139目録授与・模型贈呈、発注者挨拶(鳥取県危機管理局長)、記念撮影、新機体及び訓練用施設の説明ほか	
機種	アグスタウェストランド社製アグスタ式AW139型																											
購入先	東京都港区芝公園二丁目三井物産エアロスペース(株)																											
取得価格	2,158,920千円 (購入財源は緊急防災・減災事業債を活用)																											
取得年月日	平成27年3月17日																											
エンジン出力	3,358馬力 最大巡航速度 305km/h																											
最大離陸重量	6,800kg 航続可能距離 約650km																											
ホバリング能力	約2,600m 最大搭乗者数 17名(操縦士含む。)																											
主な装備品	救助用ホイスト、可視・赤外線一体的カメラ、動態管理システム、消火バケツ、機外拡声器、ヘリコプターテレビ伝送装置、高性能自動操縦装置、ワイヤーストライクプロテクション、空中衝突警告装置、デジタル電子式エンジン制御装置など																											
日時	平成27年3月17日(火)午後2時30分~																											
場所	消防防災航空センター格納庫前エプロン(鳥取空港内)																											
主催等	発注者:鳥取県、受注者:三井物産エアロスペース株式会社																											
出席者	県内各消防局長及び空港関係者ほか																											
内容	AW139目録授与・模型贈呈、発注者挨拶(鳥取県危機管理局長)、記念撮影、新機体及び訓練用施設の説明ほか																											

7 決算調書  
(別途提出)

8 事業別実施状況調べ  
(別途提出)

9 予備費の充用調べ  
(別途提出)

10 繰越関係調べ

(1) 継続費逐次繰越調べ  
(別途提出)

(2) 繰越明許費調べ  
(別途提出)

(3) 事故繰越調べ  
(別途提出)

1 1 収入証紙取扱額調べ

(単位：円)

収入科目			件数	単価 (円)	証紙はりつけ額 (円)	備考
目	節	細節				
総務手数料	防災手数料	消防講習等手数料	2,294	危険状交付 2,800 他	7,763,900	
	計(節)		2,294		7,763,900	
本庁執行分計(目)			2,294		7,763,900	
出納機関執行分計(目)					0	
目計(総務手数料)					7,763,900	
商工手数料	商工手数料	高圧ガス製造許可等手数料	253	製造変更許可 16,000 他	7,568,750	
	"	産業用火薬類使用許可等手数料	24	保安検査 41,000 他	405,000	
	"	電気工事士免状交付等手数料	388	第1種新規 5,900 他	2,482,750	
	"	猟銃販売許可手数料	0	73,000	0	
	計(節)		665		10,456,500	
本庁執行分計(目)			665		10,456,500	
出納機関執行分計(目)					0	
目計					10,456,500	
合計					18,220,400	

12 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金  
該当なし

(2) 使用料

(単位：円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
行政財産使用料	行政財産使用料		0	0	0	0	0		
	計(節)		0	0	0	0	0		
本庁執行分計(目)			0	0	0	0	0		
出納機関執行分計(目)			28	441,531	441,531	0	0	鳥取県行政財産 使用条例	消防学校〔出納機関〕 で執行
目計			28	441,531	441,531	0	0		
合計			28	441,531	441,531	0	0		

(3) 手数料

(単位：円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
総務手数料	防災手数料	消防講習等 手数料	1	3,317,800	3,317,800	0	0	消防法	証紙収入振替分 (会計局から)
	計(節)		1	3,317,800	3,317,800	0	0		
本庁執行分計(目)			1	3,317,800	3,317,800	0	0		
出納機関執行分計(目)			0	0	0	0	0		
目計			1	3,317,800	3,317,800	0	0		

(単位：円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
商工手数料	商工手数料	高圧ガス製造許可等手数料	1	4,248,150	4,248,150	0	0	高圧ガス保安法 液化石油ガスの保安の 確保及び適正化に関する法律	証紙収入振替分 (会計局から)
	"	産業用火薬類使用許可等手数料	1	2,400	2,400	0	0	火薬類取締法 武器等製造法	証紙収入振替分 (会計局から)
	"	電気工事士免状交付等手数料	1	1,060,500	1,060,500	0	0	電気工事士法	証紙収入振替分 (会計局から)
	"	猟銃販売許可手数料	0	0	0	0	0	武器等製造法	
	計(節)			3	5,311,050	5,311,050	0	0	
本庁執行分計(目)			3	5,311,050	5,311,050	0	0		
出納機関執行分計(目)			0	0	0	0	0		
目計			3	5,311,050	5,311,050	0	0		
合計			4	8,628,850	8,628,850	0	0		

## (4) 財産収入

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
物品売払収入				0	0	0	0		
	計(節)			0	0	0	0		
本庁執行分計(目)				0	0	0	0		
出納機関執行分計(目)			56	255,960	235,224	0	20,736		消防学校〔出納機関〕で執行 20,736円は4月6日 他収入済
目計			56	255,960	235,224	0	20,736		
合計			56	255,960	235,224	0	20,736		

(5) 寄付金  
該当なし

(6) 諸収入

(単位：円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
雑入	雑入	自主防災組織リーダー研修経費	1	209,762	209,762	0	0		
		防災啓発研修経費	1	116,629	116,629	0	0		
				0	0	0	0		
本庁執行分計(目)			2	326,391	326,391	0	0		
出納機関執行分計(目)				14,989,348	14,543,216	0	446,132		消防学校及び消防防災航空センター(出納機関)で執行 446,132円は4月6日 他収入済
目計				15,315,739	14,869,607	0	446,132		
合計				15,315,739	14,869,607	0	446,132		

(7) 現金の取扱状況  
該当なし

1 3 税外収入未済額調べ  
該当なし

1 4 未収金回収促進のための取り組み状況調べ  
該当なし

1 5 税外収入不納欠損額調べ  
該当なし

16 債務負担行為の状況調べ

事業名	種別	設定状況			当該事業の契約 額等	執行（支出）状況						備考
		議 決 (補正・ 当初の 別)	期 間	限 度 額		設定年度の 執行額 A	債務負担行為の期間				合 計 A+B	
							25年度までの執 行額	26年度 執行額	27年度以降の執 行予定額	計 B		
消防防災ヘ リコプター 運航管理業 務等委託	委託 料	平成22 年3月 (当初)	平成23年 度から平 成27年度 まで	円 909,701,000	円 831,186,038	円 0	円 470,299,388	円 246,526,650	円 114,360,000	円 831,186,038	円 831,186,038	
同上 (消費税増 税分)	〃	平成26 年3月 (補正)	平成26年 度から平 成27年度 まで	12,064,000	10,311,046	0	0	7,043,618	3,267,428	10,311,046	10,311,046	
消防防災航 空センター 清掃業務委 託	〃	平成23 年12月	平成24年 度から平 成26年度 まで	2,517,000	1,984,500	0	1,323,000	661,500	0	1,984,500	1,984,500	
消防学校費	借上 料	平成25 年12月	平成26年 度	755,000	2,520,204	1,771,980	0	748,224	0	748,224	2,520,204	
消防防災航 空センター 清掃業務委 託	委託 料	平成26 年11月	平成27年 度から平 成29年度 まで	2,691,000	2,607,699	0	0	0	2,607,699	2,607,699	2,607,699	
消防防災ヘ リコプター 運航管理業 務等委託	〃	平成26 年11月	平成27年 度から平 成31年度 まで	652,499, 000	648,000, 000	0	0	0	648,000, 000	648,000, 000	648,000, 000	
合 計				1,580,227, 000	1,496,609, 487	1,771,980	471,622, 388	254,979, 992	768,235, 127	1,494,837, 507	1,496,609, 487	



17 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1) 負担金

(単位：円)

予算科目 (目)	予算額	区分	負担金の名称	支出先	負担率	支出 年月日	支出金額	支出の根拠法令 名等(規約、要領 等を含む)	備考
消防連絡調整費							0		
新規以外のもの							5,300,000		救急振興財団負担 金、中国・四国プロ ック緊急消防援助 隊合同訓練負担金
本庁執行分計							5,300,000		
出納機関執行分 計							516,586		消防防災航空セン ター〔出納機関〕で 執行
目計(消防連絡 調整費)							5,816,586		
消防学校費							0		
新規以外のもの							0		
本庁執行分計							0		
出納機関執行分 計							1,005,000		消防学校〔出納機関 〕で執行
目計(消防学校 費)							1,005,000		
鉄砲火薬ガス等 取締費	0	単県	高圧ガス関係事業者 講習会講師に係る費 用負担金	個人	実費	26.11.27	4,180		
新規以外のもの							0		
本庁執行分計							0		
出納機関執行分 計							0		
目計(鉄砲ガス 取締費)							4180		
合計							6,825,766		

(2) 補助金

予算科目 (消防連絡調整費)

① 国 補 分

該当なし

② 単 県 分

(単位：円)

補助金等の名称 (補助金の創設年度)	交付先	間接	補助対象経費	実施計画承認 又は内示年月 日	着手 年月日	額の確定 年月日	支出の状況			備考
				交付申請 年月日	完了 年月日	検査 年月日	概算払 精算払 の別	支出年月 日	金額	
事業の内容			補助率及 び 補助金額	交付決定 年月日	実績報告 年月日	審査・現地 調査年月 日				
鳥取県消防協会補助 金 (昭和48年度)	(公財) 鳥 取県消防協 会	一部	10,134,700	—	—		概算	26.6.11	1,750,000	当該法人の財政基 盤が弱く支援が必 要である。
鳥取県消防協会に対 する運営費補助			定額 1,750,000	26.4.7	—					
				26.4.18						
他の地方公共団体の みに交付するもので 交付決定額(変更後) が3,000万円未満の もの									0	
本庁執行分計									1,750,000	
出納機関執行分計									0	
単 県 分 計									1,750,000	
表の補足説明	1 「交付申請年月日」及び「交付決定年月日」欄の( )書きは、変更に係るものの当初の年月日である。 2 翌年度繰越分の期間・繰越事業費を「備考」欄に記入する場合の( )書きは補助金相当額である。									

予算科目 (消防学校費)

① 国 補 分

該当なし

② 単 県 分

該当なし

予算科目（銃砲火薬ガス等取締費）

① 国 補 分  
該当なし

② 県 単 分  
該当なし

（２－２）補助金（他課から予算の配当替えを受けて執行したもの）  
該当なし

（３）交付金

（単位：円）

予算科目（目）	予算額	区分	交付金の名称	支 出 先	負担率	支出年月日	支 出 金 額	支出の根拠法令名等 （規約、要領等を含む）	備 考
防災総務費							0		
新規以外のもの							62,500,000		鳥取県防災・危機管理対策交付金
本庁執行分計							62,500,000		
出納機関執行分計							0		
目 計							62,500,000		
消防連絡調整費 （地方機関執行分計）							0		
目 計							0		
合 計							62,500,000		

(4) 委託料

予算科目 (目)	国補単 県の別	委託料の名称	委託契約 の相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約締結 年月日)	完了 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	(契約年月日) 契約額	契約期 間			支出 区分	支出 年月日	金額	
				変更契約(最終)			履行検査 年月日	契約形態				
防災総務費	単県	鳥取県西部地震 展示交流センター 運営事業	日野ポ ランテ ィア・ ネット ワーク	5,993,000	(26.4.1) 5,993,000	26.4.1 ~ 27.3.31	— (免除)	27.3.31	概算	26.4.21	5,993,000	【随意契約理由】 受託団体は西部地震 直後から現在まで日 野町の震災復興活動 を続けてきた団体で、 本事業の目的を達成 できる唯一の団体で あるため。
					—	—	随					
"	単県	平成26年度住民が 主体となった防災 体制構築支援事業	岩美町	534,000	(26.4.1) 534,000	26.4.1 ~ 27.3.31	— (免除)	27.3.31	精算			【随意契約理由】 受託町は厚生労働省 が定める「セーフテ ィネット」支援対策 等事業費補助金交付 要綱」における「安 心生活基盤構築事業 」の採択を受けた市 町村であり、本事業 との連携を行うこと ができるため。
					—	—	随					
"	単県	"	若桜町	534,000	(26.4.1) 534,000	26.4.1 ~ 27.3.31	— (免除)	27.3.31	精算			
					—	—	随					
"	単県	"	智頭町	534,000	(26.4.1) 534,000	26.4.1 ~ 27.3.31	— (免除)	27.3.31	精算			
					—	—	随					
"	単県	"	北栄町	534,000	(26.4.1) 534,000	26.4.1 ~ 27.3.31	— (免除)	27.3.31	精算			
					—	—	随					
"	単県	"	江府町	534,000	(26.4.1) 534,000	26.4.1 ~ 27.3.31	— (免除)	27.3.31	精算			
					—	—	随					
"	単県	"	倉吉市	534,000	(26.4.1) 534,000	26.4.1 ~ 27.3.31	— (免除)	27.3.31	精算			
					—	—	随					
予定価格が50 万円未満のもの											0	
本庁執行分計											5,993,000	
出納機関執行 分計											0	
目計											5,993,000	

(単位：円)

予算科目 (目)	国補 単 の 別	委託料の名称	委託契約 の相手方	当 初 契 約			入札等 年月日 (契約金附 等用)	完 了 年 月 日	支 出 の 状 況			備 考
				予定価格	(契約年月日) 契 約 額	契 約 期 間			支出 区分	支 出 年月日	金 額	
				変更契約 (最終)	(契約年月日) 契 約 額	契 約 期 間	契約形態	履行検査 年 月 日				
消防連絡 調整費	単 県	危険物取扱者及 び消防設備士に 係る免状等作成 業務委託	(財)消防試 験研究セン ター	1件当たり 新規交付 1,831 再交付 1,177 写真の書換 1,046 写真の書換 458 写真書換未了者への葉書 88	(26.4.1) 1件当たり 新規交付 1,831 再交付 1,177 写真の書換 1,046 写真の書換 458 写真書換未了者への葉書 88	26.4.1 ~27.3.31	26.3.24 (免除)	26.6.30 他	精算	26.8.4 他	1,864,156	全国唯一の実施機関 である。
				—	—	—	随	26.7.15 他				
"	単 県	消防設備士講習 事務委託	(一社)鳥取 県消防設備 協会	1件当たり 5,334	(26.4.1) 1件当たり 5,334	26.4.1 ~27.3.31	26.3.24 (免除)	26.11.7	精算	26.12.11	1,503,547	知事が行う講習と同様の講習を適 正に行うことができる機関に講習事務 を委託して差し支えないこととされて おり県内では当協会のみが該当するた め。
				—	—	—	随	26.12.3				
"	単 県	危険物取扱者保 安講習委託	鳥取県危険 物保安協会 連合会	1件当たり 3,581	(26.4.1) 1件当たり 3,581	26.4.1 ~27.3.31	26.3.20 (免除)	26.9.10	精算	26.10.3	2,745,910	県内で本業務を委 託しうる唯一の団 体である。
				—	—	—	随	26.9.19				
予定価格が 50万円未満の もの											295,766	消防団を中核とす る地域防災力強化 モデル事業(米子 市)
本庁執行分計											6,409,379	
出納機関執行 分計											245,022,525	航空センター執行 営繕課へ配当替、営 繕課から令達
目 計											251,431,904	



(単位:円)

予算科目 (目)	国補単 県の別	委託料の名称	委託契約 の相手方	当 初 契 約			入札等 年月日 (契約締結 等用)	完 了 年 月 日	支 出 の 状 況			備 考	
				予定価格	(契約年月日) 契 約 額	契 約 期 間			支出区 分	支 出 年月日	金 額		
				変 更 契 約 ( 最 終 )			履 行 検 査 年 月 日						
鉄砲火薬ガス 等取締費	単県	第二種電気工事 士免状交付事務 委託	鳥取県電気工 事業工業組合	新規交付 3,467	(26.4.1) 新規交付 3,465	26.4.1 ~ 27.3.31	26.3.20 (免除)	27.3.31	精算		0		
				再交付 1,734 書換え 1,334	(契約年月日) 契 約 額								契 約 期 間
					—	—	一般						
予定価格が 50万円未満の もの												0	高圧ガス免状交 付委託
本庁執行分計												0	
出納機関執行分 計												0	
目 計												0	
合 計												260,030,425	

(4-2) 委託料 (他課から予算の配当替えを受けて執行したもの)  
該当なし

18 工事請負費調べ

(単位：円)

予算科目 (目)	国補 単県 の別	工 事 名	当 初 契 約			入札等年月日 (契約保証金 納付等年月日)	請 負 人	支 出 状 況			実地 完成 年月日	変 更 (解除) の理由 ・内容	備 考
			(起工年月日)	(契約年月日)	工 期			支 出 区 分	年 月 日	金 額			
			設計額	契約額		検査 年月日							
			変 更 契 約 (最終)					契 約 形 態					
消防連絡 調整費			( )	( )	~	( )				0			
			( )	( )	~								
本庁執行分計									0				
出納機関執行分計									11,782, 800			営繕課へ 配当替、 営繕課か ら令達	
目 計									11,782, 800				
合 計									11,782, 800				

18-2 工事請負費調べ (他課から予算の配当替えを受けて執行したもの)

該当なし



19 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地

(平成27年 3月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考
			面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	増減別	異動日	面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	
行政財産	消防学校敷地	米子市流通町大向ノニ1350他	30,112	387,317,125	増加	H				H	30,112	387,317,125	消防学校
					減少	H				H			
計			30,112	387,317,125							30,112	387,317,125	
合計			30,112	387,317,125							30,112	387,317,125	

イ 建物

(平成27年 3月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考
			面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	増減別	異動日	面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	
行政財産	消防学校本館ほか	米子市流通町大向ノニ1350	3,730.03	439,673,547	増加					H	3,730.03	439,673,547	消防学校
					減少					H			
					増加					H			
					減少	H				H			
	消防防災航空センター	鳥取市湖山町北4丁目344-2	935.52	298,408,950	増加	H				H	935.52	298,408,950	消防防災航空センター
					減少	H				H			
計			4,665.55	738,082,497							4,665.55	738,082,497	
合計			4,665.55	738,082,497							4,665.55	738,082,497	

ウ 山林

該当なし

エ 不動産売却等

該当なし

オ 財産の交換

該当なし

カ 動 産（船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機）

（平成27年3月31日現在）

区 分	前年度末		本年度中の増減（△）			本年度末数量	備 考
	取得年月日	数 量	年 月 日	数 量	取得又は処分価格		
航 空 機	H10.2.27	1			円	1	消防防災航空センター
航 空 機			H27.3.17	1	2,158,920,000	1	消防防災航空センター
合 計		1		1	2,158,920,000	2	

キ 物 権  
該当なし

ク 無体財産権  
該当なし

ケ 有価証券  
該当なし

コ 出資による権利

（平成27年3月31日現在）

区 分	前年度末 （数量、金額）	本年度中		本年度末 （数量、金額）	法 人 名	備 考
		増	減			
（財）消防試験 研究センター 出資金	円 1,000,000			1,000,000	（財）消防試験 研究センター	
（財）救急振興財 団出捐金	20,000,000			20,000,000	（財）救急振興 財団	
合 計	21,000,000			21,000,000		

（2）金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

（平成27年3月31日現在）

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		購 入 額	使 用 額		
郵便切手類	円 3,470	円 19,642	円 15,335	円 7,777	
収入印紙	0	0	0	0	
合 計	3,470	19,642	15,335	7,777	

イ タクシーチケットの受払状況

（平成27年3月31日現在）

前年度末未使用枚数	本 年 度 中		本年度末未使用枚数
	購 入 枚 数	使用枚数及び金額	
42枚	0枚	1枚 820円	41枚

(3) 基金  
該当なし

(4) 債権

(平成27年3月31日現在)

債権の名称	前年度末		本年度中				本年度末		備考
	金額	件数	増		減		金額	件数	
			金額	件数	金額	件数			
消防防災航空隊 派遣隊員宿舍借 上に係る敷金	円 270,000	3	円		円		円 270,000	3	消防防災航空 センター
合計	270,000	3					270,000	3	

20 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

- ア 土地  
該当なし
- イ 建物  
該当なし

(2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの）  
該当なし

21 借受不動産明細調べ

区分	種別	借受 (使用) 目的	所在地	数量又 は面積	契約の状況				借受先 住所 氏名	備考
					契約書 の有無	借受期間	借料(円)			
							単価	本年の借料		
建物	事務室 ・ 展示室	鳥取県 西部地 震展示 交流セ ンター	日野町根 雨130	m <sup>2</sup> 40.00	有	H23.4.1 ～ H28.3.31	月額・年額 無償	0	日野町根雨101 日野町	冷暖房 費は実 費支出
建物	ガーデ ンコー ト湖山	航空隊 員用住 宅	鳥取市湖 山町北2- 585	m <sup>2</sup> 71.40 (23.80m <sup>2</sup> ×3室)	有	H12.4.1 ～	月額 41,000円 45,000円 48,000円		鳥取市扇町116 番地 (有)タジマ 商事	消防防災 航空セン ター

22 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

- (1) 職員住宅  
該当なし
- (2) 職員駐車場  
該当なし

23 自動車（二輪を除く）の管理状況調べ

車種	年式	登録番号	取得年月日	総走行 キロ数	本年度		備考
					車検年月日	修理費等	
普通特殊	H21	鳥取800 さ 5032	H21.1.6	km 39,897	平成27年1月5日	円 417,281	起震車

24 寄附物件の受納状況調べ  
該当なし

25 備品の処分状況調べ  
該当なし

26 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ  
(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ  
該当なし

(2) 物品の照合

照合年月日	現物確認できなかった物品	現物確認できなかった物品名	個 数
平成27年2月17日 ～ 平成27年3月24日	・(有) ・無	危険物データブック第2版	1
		県章刻印	31
		機械打刻印	6
		手打刻印	12
		特定容器刻印	30
		その他刻印	44
		電話機	8
		ワープロ	1
		パーソナルコンピュータ	1
		パソコン	1
		レーザープリンター	1
		自動給紙装置	1
		石油ストーブ	1
		電磁膜厚計	1
		超音波厚土計	1
		距離計	1
		距離測定器	1
		一酸化炭素検知器	1
		大型テレビ	1
		ビデオカメラ	1
オートスライド	1		
ビジネスサーバー	1		
無線用試験器	1		
周波数測定器	1		

27 貸付金等状況調

(1) 総括表  
該当なし

(2) 償還状況  
該当なし

○ 意見、要望等  
特になし